

交流・文化施設等整備検討委員会 「第5回委員会」

会議次第

日時：平成20年10月14日（火）午後3時～5時（予定）
場所：上田駅前ビルパレオ 2階会議室

1. 開会

2. 議事

(1) 市民ニーズの把握と整理について

資料1-①、-②、-③

(2) 基本コンセプト（基本理念、目標）について

資料2-①、-②

(3) 専門委員会への検討課題について

資料3

(4) 今後の予定について

資料4-①、-②

(5) その他

3. 連絡事項

4. 閉会

●配布資料

- ・資料1-① 市民ニーズの把握と整理（これまでに多く出されている意見のまとめ）
- ・資料1-② 市民ニーズの把握と整理（検討委員から出されている意見）
- ・資料1-③ 市民ニーズの把握と整理（全体の意見・要望一覧）
- ・資料 市内文化施設利用者団体懇談会（第1回）概要 ※事前配布
- ・資料 市内文化施設利用者団体懇談会（第2回）概要 ※事前配布
- ・資料 市民意向調査（アンケート）結果（速報版） ※事前配布
- ・資料2-① 基本コンセプト（案）
- ・資料2-② 市民意見・要望に基づく基本コンセプト作成案
- ・資料3 専門委員会への検討課題について（案）
- ・資料4-① 今後の予定について
- ・資料4-② 検討委員会の進め方（修正）について（案）

市民ニーズの把握と整理

(これまでに多く出されている意見のまとめ)※太字は特に多かった意見

平成20年10月14日
交流・文化施設等整備検討委員会
第5回委員会 資料1-①

大区分	中区分	小区分	内容
I 基本コンセプト	基本理念、目標		<p>子どもからお年寄りまでが気軽に訪れられる、利用しやすい、親しみのもてる施設</p> <p>東信地区の中心都市として、市民が誇りに思える、上田市のシンボルとなる施設</p> <p>自然を残し、千曲川などの風景を活かした、景観に配慮された施設</p> <p>市外、県外からも人々が訪れ、観光、財政面でも上田市の活性化に繋がる施設</p> <p>市民、特に次代を担う子ども達が、気軽に一流の芸術に触れられる、文化・芸術発信の中心的施設</p>
II 施設概要	ホール	全体	<p>音楽の公演に主眼を置いたホール</p> <p>多目的なホール</p> <p>大ホールは芸術鑑賞、小ホールは芸術発表とし、役割を分担する</p> <p>大ホールは音楽、中ホールは演劇、小ホールは多目的とし、目的を分担する</p>
	音響		<p>一流の芸術に相応しい音響設備</p> <p>音楽公演のため、残響時間を長く設定</p> <p>講演会や演劇のため、残響時間を短く設定</p> <p>残響可変装置を設置</p>
	舞台		<p>舞台裏、舞台袖の面積を広くし、大型楽器、大道具等の搬出入時の動線に配慮</p> <p>倉庫を数か所設置、搬出入時などの動線に配慮</p> <p>ピアノ庫の設置、ピアノ移動時などの動線に配慮</p> <p>舞台用リノリウムの設置</p>
	楽屋		<p>できるだけ多く設置し、大規模公演に配慮</p> <p>防音の軽練習室を設置</p> <p>楽屋内で舞台の状況を確認できるモニター装置</p> <p>楽屋内、シャワー、洗濯機、給湯設備設置</p> <p>主催者控室の設置</p> <p>主催者控室内、給湯設備設置、机椅子等を多く配置</p> <p>全て舞台と同じフロアに設置</p> <p>広いトイレ</p>
	客席		<p>全席と位置をずらす、角度をつける等、観やすく配置</p> <p>前後の間隔を広い席を設ける等、障がい者や高齢者への配慮</p> <p>携帯電話遮断装置</p> <p>音の聴こえにくい場所がないように</p> <p>二重扉の設置</p>
	席数		<p>小中学校音楽関係部の地区大会ができる規模</p> <p>興行として成立、収支のバランスがとれる規模</p> <p>有名アーティストの全国ツアーの会場となる規模</p> <p>市外、県外からの集客、観光面を考慮し、できるだけ大きいホール</p> <p>1,500席程度</p> <p>1,700～1,800席程度</p> <p>2,000席程度、県民文化会館程度の規模</p> <p>客席数可変装置の設置</p>
	副ホール		<p>200席程度</p> <p>300席程度</p> <p>800席程度、演劇用</p> <p>ロールバック(収納)式座席</p>
	その他		<p>ホールを中心に施設を整備する</p> <p>様々な利用ができ、魅力ある催しが行われるよう、ホール機能・規模の充実【アンケート問6、回答率21.3%（第3位）】</p> <p>ホール以外の施設は不要</p>
ホール共通	搬出入口		<p>十分な広さ</p> <p>段差を少なく</p> <p>雨天時の屋根</p>

大区分	中区分	小区分	内容
II 施設概要	ホール共通	搬出入口	大型 トラック複数台で作業が行えるスペース
		練習室	リハーサル室 防音の練習室 練習室（が必要）【アンケート問4、回答率17.4%（第3位）】
		練習室	舞台と同じ広さのリハーサル室 演劇練習用 ダンス練習用 バンド練習用 多目的練習室 バレエ用練習室（鏡、バー、リノリウムを設置）
		展示室	国内外の有名な作品を展示できる設備 郷土の芸術家作品の展示を中心とした展示室 目的等に応じ、壁やパネルの配置で広さや形が変えられる展示室 県展規模の展示ができる展示室
		収蔵庫	郷土の芸術家作品の収蔵に配慮した収蔵庫 温度、湿度管理のほか耐震性に配慮 良い収蔵庫がないと良い作品は来ない
	美術	資料室	美術、芸術関連書の資料室、研究室 郷土作家の研究が活発に行える資料室
		その他	運営費、維持費がかかるので美術館は不要 一部の人しか利用しないため必要性に疑問、既存の施設でよい 美術館の部分は小さくしてその分ホールを大きくする
		エントランス	広いスペース 公演前の待ち時間をゆっくり過ごせるスペース
交流	市民ギャラリー	アトリエ	市民、特に子どもが自由に創作活動ができる場所 体験学習や美術の講座が開かれる場所 水道設備の設置 版画用プレス機の設置 個人では購入出来ない大型設備の設置
		市民ギャラリー	子どもの作品の展示室 多目的な展示室 小グループから大きな団体まで自由に発表できる場所
		多目的スペース	多目的フリースペース（が必要）【アンケート問4、回答率20.3%（第2位）】 大人から子どもまで利用できる多目的スペース フリーマーケット等、物販のできる場所 多目的フリースペースが多くあれば、他の施設に代えられる
		レストラン・カフェ	レストラン、カフェ（が必要）【アンケート問4、回答率22.4%（第1位）】 おいしい、おしゃれなレストラン、カフェ 営業時間を長くする 弁当が注文できるレストラン レストランはアリオ上田を利用すればよい
		売店	おみやげや地域の特産品の販売 公演に関連した物販 ミュージアムショップ
	トイレ		できるだけ多く設置する（特に女性用） 子ども用トイレ、おむつ換えシート等の充実 身障者用トイレ 洋式のみにする 男女を近くにする
		その他	託児室 子どもが雨天時でも遊べるような施設 会議室 図書館 カルチャースクールや様々な講習会が開かれるスペース

大区分	中区分	小区分	内容
II 施設概要	交流	その他	運動やトレーニングができるスペース 市民誰もが気軽に訪れ、様々な利用・活動ができるよう、施設の交流機能の充実【アンケート問6、回答率21.8%（第2位）】 利用者が限られるため交流施設は不要
		公園	水・花・緑が多く、自然環境が保全され、心が癒されるような公園・広場【アンケート問5、回答率37.0%（第1位）】 スペースが広く自由に過ごせるような公園・広場【アンケート問5、回答率25.6%（第2位）】 ホール等と関連付けて催しができ、賑わいや活気に溢れている公園・広場【アンケート問5、回答率17.1%（第3位）】 子どもが安全に楽しく遊べ、遊具の整備や防犯に配慮した公園 子どもからお年寄りまで気軽に楽しめる公園 静かで落ち着ける公園
	公園	コンセプト	
		コンセプト	
		その他	ウォーキングコース、ジョギングコースの整備 東屋や木陰など、日差しを遮る場所の設置 子ども用遊具の充実、アスレチック等の設置 遊具等はあまり置かないで、広いスペースを確保
	公園	その他	噴水、池、せせらぎなど親水空間の整備 ドッグラン等、動物を入れる場所の設置 野外コンサートができるようなステージの設置 バーベキュー場の設置 トイレの充実 施設を小規模にして公園を広くする シンボル的なモニュメント等は不要 夜間、若者のたまり場にならないような管理体制 不法投棄、ペットの糞等の対策を十分に 災害時の避難場所としての整備
		交通	周辺道路の整備、渋滞への配慮 シャトルバスの運行
	利用者配慮	アクセス	スペースをできるだけ広く、駐車可能台数をできるだけ多く 大型車への配慮 高齢者、障がい者への配慮 立体駐車場の設置 500台以上 1,000台以上
		駐車場	
III 管理運営	事業計画	全体	市内の既存文化施設との連携、役割分担 稼動率、利用率の高い催しの企画 ハード面（建物）よりソフト面（事業の内容）を重視 上田独自の、毎年続けられる催しの企画 催しの情報を様々な媒体を使い積極的にお知らせする、観光面とのタイアップ 使用料、使用方法など、市民や市内学校、文化団体への特段の配
		ホール	クラシック音楽（交響楽、吹奏楽、合唱等）【アンケート問2、回答率20.9%（第1位）】 演劇、ミュージカル【アンケート問2、回答率16.9%（第2位）】 ポピュラー音楽【アンケート問2、回答率15.9%（第3位）】 一流の音楽家や有名アーティストの公演 長野、松本で行われるものと同レベルの公演 子ども向けの催しを多く行う 小中学校音楽関係部等の発表会、地区大会等 市民や若手アーティストの発表会、市民オーケストラの結成 映画の上映を多く行う（シネマコンプレックスの計画が断念されたため）

大区分	中区分	小区分	内容
III 管理運営	事業計画	美術館	有名な芸術家や美術館の企画展示を中心とした施設【アンケート問3、回答率18.5%（第1位）】 子どもが自由に創作や体験活動を行える施設【アンケート問3、回答率16.9%（第2位）】 市民の皆さん自分が自分の作品を自由に発表できるような施設【アンケート問3、回答率15.7%（第3位）】 子どもからお年寄りまで気軽にに入る美術館 郷土の芸術家作品の展示 障がいを持つ人達の作品を展示 市民が所蔵する、市に眠っている作品の展示 ここにしかないような、目玉となる作品が必要 高価な美術品を購入してほしくない 展示品の入れ替えを頻繁に行う
			管理者
			指定管理者制度等で民間の活力を導入する 市の文化行政や教育との連携のためには、全く外部の管理者よりは財団法人などを設立するべき 管理・運営・企画等、NPOや市民ボランティアの力を活用する 指定管理者やボランティアは公募する シルバー人材センターの活用 芸術監督、企画員、学芸員等の専門職員の起用、市の一般職員は配置しない
			その他
			太陽光発電設備等を取り入れ、環境負荷の低減と維持費の削減を災害時の防災拠点としての整備
		建設	将来的な維持・管理面まで見据え、過剰な投資・負担とならないような財政面への配慮【アンケート問6、回答率22.6%（第1位）】 市民や企業から寄付を募る 上田市の身の丈にあった施設を 外観にお金をかけずその分利用者のための設備に充てる 外観にお金をかけずその分ホールの設備に充てる
			設計 上田城、千曲川などの自然等、景観に十分配慮した設計にする 設計は有名な建築家が行うと使いにくい施設になる 「コンパクトなもの」か「立派なもの」、中途半端なものなら造らない方がよい
	その他の意見	反対意見	上田市の財政状況から見て、この計画自体に反対 旧上田市だけを充実させる計画に反対 市の活性化と言うが、中心商店街の活性化にはむしろ逆の影響が既存の文化施設で十分 交流・文化施設等よりも病院、図書館、体育施設、資源循環型施設の整備が必要 交流・文化施設等を整備するよりも市内の官公署を移転し一か所に集めるべき
			その他 敷地が狭い、公共利用地域を広げるべき 既存の文化施設も並行して修繕等を行うべき 早期完成を望む

市民ニーズの把握と整理

(検討委員から出されている意見)

平成20年10月14日
交流・文化施設等整備検討委員会
第5回委員会 資料1-②

大区分	中区分	小区分	内容
I 基本コンセプト	基本理念、目標	癒し	明るく、開かれた憩いの場として、ゆったりと過ごしてもらったら、また一歩、前に出られる、そんな心のオアシスになりますように、夢を与える場所になれますように 古くなればなるほど味わい深い温かなぬくもりを感じられるような文化施設
	活性化		本来中心となる上田城付近が閑散としている、他の商業施設や中心市街地との競合を避け、活性化する施設 市外からも集客でき、観光、財政面で効果のある施設 単なる「文化・教育施設」にとどまらず、「まちづくり」「観光」といった視点からの位置付けも必要 県内外からの誘客を目指した施設 地理的優位性を活かした施設（JR駅、高速道インターからのアクセス） 地域の活性化を推進する活動の拠点（市民参加の文化芸術活動）
	環境		環境への配慮必要 近隣の山・川など借景を活かした施設 太陽光発電を採用した施設 自然を活かした施設（千曲川、塩田平を一望できる自然、大樹に囲まれたみどり豊かな憩いの空間） 何度も足を運びたくなるような魅力ある場所、そのためには、緑豊かな広々とした公園が必要 緑の空間と調和した交流・文化施設とする 大樹、水、緑etc、うまく活用する、上田市は、上田城跡があり、千曲川があり、などひとつの流れとして工夫する
	交流		会館での出会いを通して、豊かな人間性が育めますように
	親しみ		限られた予算・敷地であっても、多種多様な団体の希望に副う施設に使いやすさが重要、開館後すぐに問題が出るようなことがないように 市民に親しまれる施設 みんなに愛される文化会館 小じんまりとした、皆に愛される音楽堂 これまでのすべての意見を見捨てることなく、全市民に喜んでもらえる施設 全市民のための全市民の手によってつくられる施設を目指し、市民の心がひとつになっていくことを目指す
	シンボル		一番は、使わずに古くなるのではなく、使ってたく（風格がある）なりたい、それが使いやすさ、市民が誇れる施設に結びつく 欧米風の重厚な建物は相応しくない ナンバーワンよりオンリーワンの施設に 上田市の芸術、文化の薫る町づくりのシンボル的な施設 新上田市民が外に誇れるもの 文化創造のシンボル 東信の中核都市として、交流文化の薫る公園の中の静かなたたずまいの施設 市民の文化・交流、夢が広がる創造性探求の場 東信地区の中心都市としてのシンボル 21世紀を輝きのある世紀にする新市創造のシンボルであり拠点とする 子どもたち、高齢者、病人を大切にするまちづくりを念頭においた施設とし、そうした人々が上田市民であることにしみじみとよろこびを感じる施設 欧米風の重厚な建物は相応しくない 16万市民にみあつた建物 「ちょっとおしゃれして」出掛けられるような
	文化の薫		子ども達が憧れるような施設 高度で多様な芸術文化（舞台芸術・音楽・美術）の要望に十分応えられる施 コンサートや演劇、大会や各種集会ができる多面性を備えたホールと美術館をもった総合的な施設 芸術・文化の創造、育成、振興、文化発信の拠点（魅力ある企画） 上田地区の文化的交流を深め、上田の外にも広く文化を発信する場所となる音楽、演劇、舞踊、美術面での複合施設 文化、教育の両面でその責務を果たし得る施設 上田は文化芸術が芽を出す、また大きく育つ場所がなく乾いている、今までの渴きを潤す、また時代の文化芸術が羽ばたくためのオアシスとなる施設 21世紀を人間性・創造性探求の世紀ととらえ、この施設はその探求の場・拠点とし、人間性・創造性豊かな芸術文化の薫り高い都市の創造を目指す 新生上田市の新たな芸術拠点として、また豊かな温かみのある郷土作りの拠点としてここから活力あふれる、文化の香り高い都市（まち）を作り上げる素晴らしい芸術は素敵な出会いをもたらす、集まる全ての人が芸術に触れたことで、生命や自然や全てのものに対して慈しみの心がにじみ出てくるのを感じるでしょう 文化・芸術交流をきっかけに、平和な世の中が続きますように、千曲川の流れが、美しくありますように、 「芸術は人間が生み出し人間と共にあり、国家に生きる人々のためにある、文化なしでは病になり易く野蛮となる」理想的な国・市の源として芸術があり、その拠点とする

大区分	中区分	小区分	内容
II 施設概要	ホール	全体	<p>大小ホール必要、小規模ホールは稼動率が高い 大ホール1,700席、小ホール300～400席 大ホール1,500席、中ホール800席、小ホール200席 残響時間の変化で多目的な音響空間を作り出せるのであれば、音楽に寄った多目的ホール 実用的機能の優先されたホール そこで演奏することが出演者、主催者にとってステイタスとなるような魅力のホール、当然それはお客様、そして市民全員のステイタス、誇りとなる 全市民のための市民会館（ホール） 外観や庭がいかに立派でも、へぼ音響、へぼピアノ、へぼ座席では意味なし 上田市にはさほどステイタスがないので、ホールをよほど魅力的にしなければ公演も遠のく</p>
II 施設概要	ホール	音響	<p>音はホールの命 音響的レベルを絶対維持 コンサート用、演劇用とで残響を変えられる残響可変装置は必須 残響時間を変えられることで、さまざまな利用ができるようにする</p>
		舞台	<p>まつとも市民芸術館とまではいかないが、ステージは奥行きを広くとる 舞台裏が広すぎるのも問題である、スムーズに公演が行われる設置にするべき、シンプルに ピアノはスタンウェイ2、カワイSKEX1、ヤマハ1が理想</p>
		楽屋	<p>ピアノソロの場合、楽屋を広めにし、グランドピアノを設置してあると良い 楽屋、リハ室、舞台を行ったりきたりするのは本番前にはあまり好ましくない 全てではないがシャワー、トイレ付の楽屋も何部屋か確保 さまざまな利用に見合った楽屋やホワイエが必要 練習室としても使える大きな楽屋（楽屋として美術館と共用できる会議室や作業室のような部屋）</p>
		客席	<p>席数で無理をしないこと、余裕のあるスペース確保が必須 客席についての希望を大切にする（前後間、長時間での居心地、ステージが見えにくくないことetc）</p>
		席数	<p>壁や、天井の仕切りで客席数を変動できる仕組み、2階席、3階席を閉鎖して演奏会を行っても良いような設計 興行として成立する規模 観光と絡め、お客様を呼ぶという発想で規模の大きなホール 市内の吹奏楽が活況、地区大会を円滑に行う1,500席程度のホール必要 佐久市に1,500席のホールができるのであれば、同じ規模のものでは意味がないし、取り合いになる 1,000～1,700、設計上のこともあるのでどこまで座席を増やすかは何とも言えない、ただ2,000は上田では大きすぎる 1,500席、フレキシブルな部分（立ち見）があるといい 1,500席程度 1,500席以上、できるものなら大きな方がよい 1,500～1,800席程度 1,700～1,800席、①東信の中核都市として、②興行として成立する規模として、③市内小中校連合発表会用、 1,700～1,800席程度、(1F) 1,200、(2F) 500席程度 1,800～2,000席あれば県民文化会館と勝負できる、長野の県文は県外の方の集客を考えていはない 1,800は必要か 客席数可変装置</p>
		副ホール	<p>300席、フレキシブルな部分（立ち見）があるといい 席数300席程度、文化会館が500席なので 300～400席、可動性椅子席、楽屋、練習室（レッスン室） 200席程度、客席がフレックスに変えられるもの 小ホールもあった方がもちろん良いが、予算の関係上無理ならば小ホールはなくし、その分大ホールをより充実させる 小ホールを利用するイベントなら、丸子でも真田でもできるので、そちらも展示スペースとしても使える小ホール 音楽教室の発表会や市民団体の練習会場として利用できるスペース 音響的レベルを維持</p>
	ホール共通	搬出入口	<p>楽器が直接搬入できる出入口 大きめ、屋根があり、トラックで乗りつけられるもの</p>
		練習室	<p>大リハ室については有効かどうかよく検討されるべきである、当日のゲネプロはステージで行う、ただしオペラなど舞台セット中は大リハ室は必要となる レッスン室2 大ホールステージと同じ広さのリハーサル室 リハーサル室（防音設備付き）</p>
	美術	展示室	<p>常設展示館（山本鼎館、石井鶴三館、ハリーシゲタ館とし、それぞれ個性ある展示館とする） 常設展示室3（石井鶴三、山本鼎、ハリーシゲタの常設展示） 常設展示室 企画展示館（常設展示館とタイアップし、全国から美術・写真愛好者、研究者、学生たちが訪れてやまない企画展を開催していく）</p>

大区分 II 施設 概要	中区分 美術	小区分 展示室	内容
			企画展示室 壁が可動式で、1つだけでもまた複数を連結して使用可能な展示室
			収蔵庫 耐震性、湿度、温度管理 収蔵庫はできる限り広く
			資料室 入場料なしで利用できるようにする
			その他 全市民のための美術館・記念館 予算が許すなら美術館も併設、山本鼎記念館を上田公園から移転 美術展示品が直接搬入できる出入口 美術館の付帯する設備は多目的に使用可能な部屋（楽屋、会議室）をホールと共有する形に 遊歩道を取り入れる
			交流 エントランス 談話室（広いロビー可） ロビーとホワイエは扉等で仕切るのではなく、例えば緩やかなスロープとなっていて、ホールに近づくにつれ気分が高揚するような演出
			アトリエ 講習会や創作活動ができるワークスペース 創作工芸室 農民美術を体験できる体験室
			ホール共通 アトリエ ミュージアムアトリエ 子どものアトリエ美術館
			市民ギャラリー 県展規模の展示ができる市民ギャラリー 市民ギャラリー 市民ギャラリー
			多目的スペース 用途を特定しない広い空間（ゆとりの空間）
公園	公園	コンセプト	レストラン・カフェ 屋上施設として芝生、植木などを配備した軽食、喫茶の交流、休息の場 入場料なしで利用できるようにする 喫茶、レストランの飲食店は入札で、市へ借用料を支払う コンサートや演劇、良い絵・作品を眺めた後の余韻を楽しめる雰囲気のもの ミュージアムレストラン
			売店 ミュージアムショップ ミュージアムショップ、入場料なしで利用できるようにする 絵はがき等を売るショップ 農民美術作品や企画展示している作品に関わる作品（商品）を購入できる
			トイレ トイレの充実（休憩時に集中するため） できる限り多めに設定し、多目的トイレも個々のエリアに1つずつ設定 目立たせたくないけれども絶対必要な所、「化粧室」とかにして数を増やす 各階に最低2か所はあった方がよい
			その他 会議室兼講習室（ホール系、美術系共用） 大小合わせて4 会議室2 必要な設備などは専門家にまかせる
			癒しの場 入場料なしで利用できるようにする
			親水 芝生 遊歩道 夏にはホタルが飛ぶような小川 芝生は必須、千曲川や上田城をを臨めるエリアには適宜にベンチ配置 子どもが遊ぶことのできる野外美術作品 野外ステージのようなエリア
			交通 アクセス 駐車場 300台、半地下1F、大きな催しの場合は商業スペースを借用 大型も含め1,000台分 管理人を専属で1人は置く 駐車場は地下に設定し、市民が憩える広い広場を確保
			利用者配慮 バリアフリー等 エレベーター バリアフリーを重視する（特に階段など） 誰もが利用できる、バリアフリー
			防災 防災対策
III 管理運営	事業計画	全体	建物よりも事業の内容が重要 他市町村からの集客にも配慮し観光面とのタイアップ 運営費、増改築費に対しての市民の寄付（減免等の条例制定） 広域から招客できる質の高い企画、観光や宿泊をセットにしたコンベンション オープン前に市民へ見学会を開く 貸館事業、自主事業、文化支援、この3本柱をきっちり

大区分	中区分	小区分	内容
III 管理運営	事業計画	全体	<p>市民団体に大いにボランティア的な参加、参画の機会を与え、市民音楽祭や市民の展覧会のようなものを開催</p> <p>目玉となるイベントを作る</p> <p>館独自の文化活動を盛んに行う</p> <p>現在の文化団体への助成を引き続き行う</p>
		ホール	<p>市内の合同・交流音楽会が開かれる文化活動の拠点施設</p> <p>美術教室、合唱団、吹奏楽団、オーケストラなどを結成し育てていく、(上田市の音楽家等の活用)</p>
		美術館	<p>施設を文化教育政策に位置づけることが重要、連携した授業など</p> <p>全国の芸術文化振興のためにも、市内の文化財を公開しなければならない</p> <p>近代美術教育の聖地上田として、石井鶴三らに深く関連した施設、眠っている作品がたくさんある</p> <p>山本鼎・石井鶴三の常設展示室</p> <p>市民の所蔵する美術品の展示</p> <p>障害を持つ人達の作品を展示</p>
	運営	管理者	<p>委託で民間が運営、行政は監督のみ</p> <p>民間のほか、NPOやボランティアの力が必要</p> <p>さまざまな形が想定されるが、いずれも一長一短で、これこそが最適という方法はない、「ベストでなくとも、よりまし選択」を目指す</p> <p>同じ指定管理者制度でも、行政直結の振興財団などでなく、民間に委託した方がより厳しさが發揮される</p> <p>管理運営は財団法人がよい、民間企業では収支が不透明なうえどうやって運営されているか明らかにされないので</p> <p>民間企業の目的は「利潤追求」なので基本コンセプトの実現化は難しい</p> <p>外部から専門家によるサポート機構</p> <p>民間やボランティアによるサポート機構</p> <p>市民を交えた企画、運営組織</p> <p>館長、学芸員、企画員の早期決定（準備室に）</p> <p>管理、運営する人材を外部から募集する、様々な芸術的分野から人材を求めて管理運営に携われるようとする</p> <p>市の職員 館長1名、副館長1名、事務主任1名、事務職員1名は必要、必要に応じて臨時（嘱託）職員数名、清掃職員必要数を置く</p> <p>民間もしくは教育文化振興財団が運営、行政の監督必要</p> <p>指定管理者制度を取り入れ、ある程度商業ベースに乗せないと管理運営は難</p> <p>塩尻、松本のホールのような指定管理者</p> <p>市街地の活性化や緑地公園での市民の憩いの場という発想を大事にしたいので、全く外部の指定管理者というのはいかがなものか</p> <p>スタッフにプロをおくこと、通常市職員ではだめ</p> <p>ホール・美術館両方の機能や運営方法を熟知している団体は存在しないのではないか、なので個々に運営団体を設定</p> <p>運営団体の選定は公募で</p> <p>管理・運営とともにこころから美術館を愛し、強い情熱を持った人たちで運営し、管理していく</p> <p>スタッフは運営・管理していく人々と、それを支えていく人々となるが、支えていく人々は広く市民に呼びかけ、全く無料でないボランティア活動とす</p> <p>ボランティア活動はここに来ることが楽しみであり、待ち遠しいという人々で支え、ここでも市民の大きな交流が生まれるようにする</p> <p>ボランティア活動には、地域や企業、会社、隣組、全ての学校、幼稚園、保育園など全市民がかかわり、全市民一体となってささえていく</p> <p>他市町村の管理運営方式を参考にしつつも全く新しい方式・方法を考え出す、ここにも新たな人間性、人間関係を確立していく重要な場がある</p> <p>広場の木々や草花の手入れも、みな市民の手で行っていく</p> <p>館の受付や清掃や展覧会の手伝いも、みな市民の手でやっていくことによつて新たな市民の交流が生まれ、市民が一体になっていく、このことが重要</p> <p>一番重要なことは市民の一体感、これは管理、運営面だけでなく、この施設をつくり出していく全過程で必要、市民にできることを全市民の参加でやる</p> <p>全市民参加のシステムづくりにも新たな人間性、創造性探求の場がある、そのため信州上田芸術文化創造・サポート市民機構（集団）（仮称）をたち上</p>
		その他	<p>太陽光発電を採用、売電金で光熱費の削減</p> <p>施設の屋上には太陽光発電設置</p> <p>雨水を集めトイレの浄水に利用する設備</p> <p>使用条例（規定）を作る</p>
	建設	建設費	<p>市民や企業から寄付を募り、寄付者には税の優遇措置を</p> <p>建設費に対しての市民の寄付（減免等の条例制定）</p> <p>太陽光発電の設備費は市民の寄付で賄い全国への宣伝材料にする</p> <p>寄付は現実的には難しい</p> <p>音楽堂80億、美術館60億？</p> <p>身の丈にあった施設を</p> <p>良いものを、というが、安くても良いものができるはず</p> <p>複合施設として工夫すれば、安くても良いものができるのでは</p> <p>「大きな施設」、「高価な施設」、「立派な施設」にこだわる必要はまったく</p>

大区分	中区分	小区分	内容
III 管理運営	建設	設計	<p>ホールの周りの景観にも特に力を入れる</p> <p>ホールと美術館は回廊等で繋がっているが別の建物とする</p> <p>ホールと美術館の間に中庭を設け、オアシスを思わせるような水が流れるエリア（噴水等）も配備する</p> <p>建物の高さは、余り高くないものが望ましい（半地下方式？）</p> <p>公園に隣接する側に市民ギャラリー等、オープンなスペースを設け、対する側をホールへの入り口とし、非日常空間を演出</p> <p>各スペースへの入り口を1か所に絞るのか、また全体のデザインをどんな感じにするのか、設計者の提案にゆだねる部分があってもいい</p> <p>シンプルでありたい</p>
その他の意見	その他の意見	その他	<p>跡地は地表面温度が低くヒートアイランドの防止に寄与、開発によってそれがなくなる</p> <p>敷地が足りるのか</p> <p>商業地区も景観に配慮を</p> <p>商業施設の設計デザインを考慮しつつ、交通のアクセス・宅地・駐車場の配置を考え、千曲川と緑の公園を活かす</p> <p>作ってから稼動するころには関係のないお年寄りではなく、若い世代の意見をもっときいて設計運営を考えるべき</p> <p>一度に全て造らず、大きな構想の中で少しづつ整備することも考える</p> <p>どこどこの施設に負けないもの、といった競争意識は無用、勝負するしたら、あくまでも企画や運営、ソフトの素晴らしさ</p> <p>最大150億の中で建物が約100億かかる、的を絞った議論にしないと話がまとまらない</p> <p>限られた予算・敷地の中で、例えば小ホールは既存施設を有効利用するということも考える</p> <p>ホールそのものが必要であり、美術館とは切り離して考える、両方一緒に考え方だと良いホールがない</p>

◆ 基本コンセプト（案）

1 基本理念

市民参加による
文化芸術の薫るまちづくりの拠点

「歴史や伝統に学ぶ文化芸術の薫るまち」づくりをめざして、様々な芸術にふれあい学び、親しみ、交わる場を提供します。この施設が文化芸術のシンボル拠点となり新たな創造と交流が行われ、文化芸術をとおして人がまちが心豊かに育まれる新上田市をめざします。

また、広範な人々が集い、憩い、交流する場として、賑わいや活力を創出し、魅力溢れるまちづくりへの架け橋にします。



2 目標

新上田市がもつ長野県の中核市、東信地域の母都市としての役割や、歴史的・文化的位置づけを踏まえ、まさにその中心となる市街地にふさわしい施設として、基本理念に基づく整備を進めます。

- 新上田市のシンボルとなる施設
～市民が誇りを感じられ、県内外から多くの人々が訪れるような魅力溢れる施設～
(まちづくり拠点の視点)
- 「歴史や伝統に学ぶ文化芸術の薫るまち」実現に向けての中核となる施設
(文化芸術の視点)
- 新たな交流や賑わいを創出し、地域の活性化につながる施設
(まちづくり、活性化の視点)
- 市民誰もが等しく気軽に利用でき、親しみ、憩える施設
(交流の場の視点)
- 環境、景観、安全等に配慮した、人にも地球にも優しい施設
(自然環境、やさしさの視点)

3 整備を必要とする方向性

『市民参加の場』

- 老朽化した現上田市民会館の移転を前提とする。
- 単なる「建替え」ではなく、市民の様々な文化ニーズに応える。
- 興行面やコンベンション機能面も含めあらゆるジャンルの利用に対応する。
- 常に多くの人が訪れることにより、まちの活力を創出し、市民の心豊かな暮らしを実現する。

『創造・育成の場』

- 地域の将来を担う子どもたちの豊かな人間性を育み、健やかな成長を支える。
- 市民誰もが学び・習いそして表現する。
- 豊かな生活文化を享受し潤いのある日常生活を送れるようにする。

『芸術・創造の場』

- この地域に古くから受け継がれてきた文化・芸術活動の土壌に基づく優れた作品を後世まできちんと保存・継承し、あらためて顕彰・鑑賞する。
- 新たな芸術作品や市民の文化芸術活動の成果等を発表・発信する。

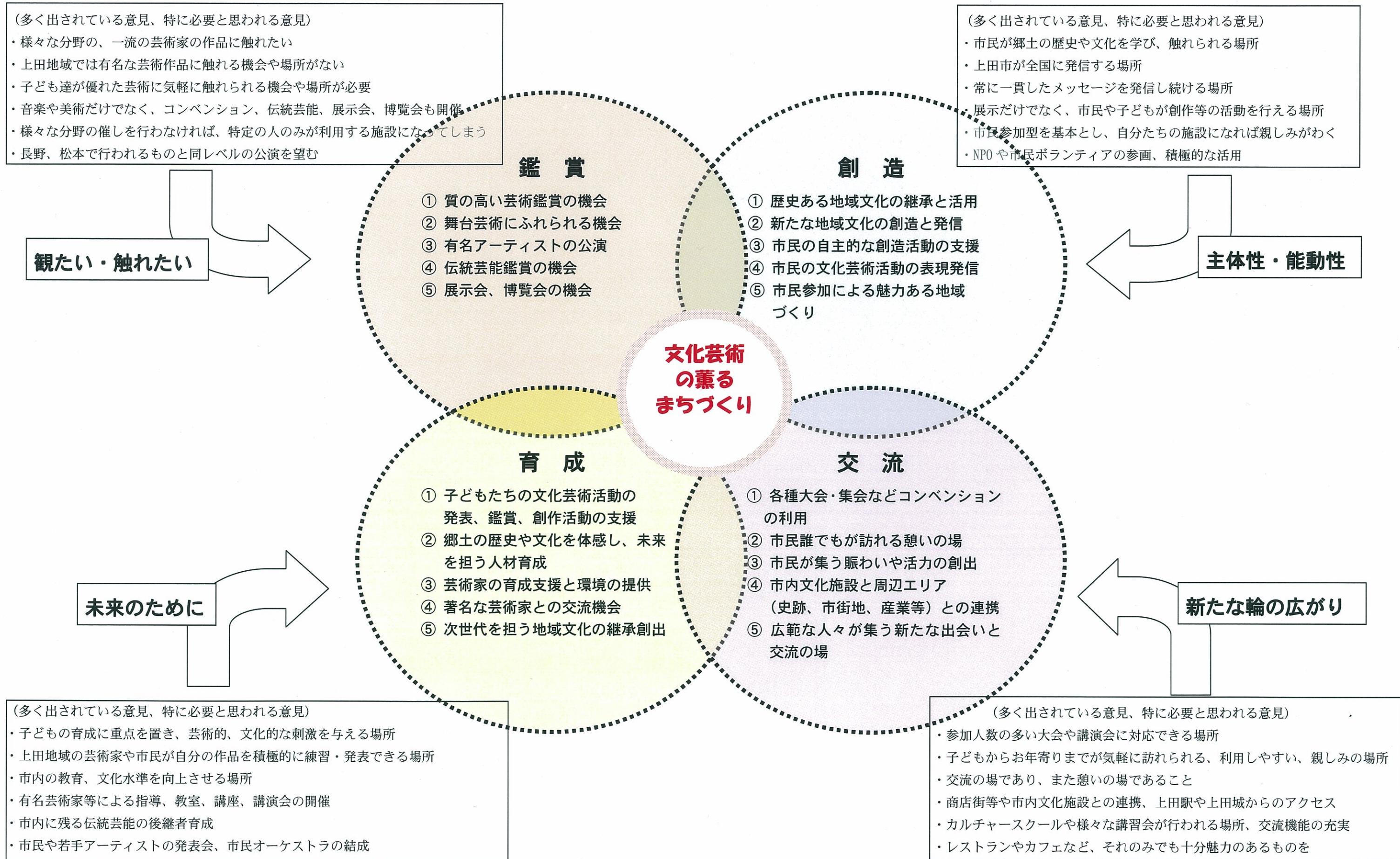
『交流・賑わいの場』

- 利便性が高い特性を活かし、市内外から多くの人々が集まる。
- 中心市街地に広がりと賑わいをもたらし、地域のシンボル施設として活用する。
- 屋外交流スペースも合わせた敷地全体において様々な交流が行われるようにする。

『癒しの場』

- 千曲川と上田城の間という立地を活用し、環境や景観に配慮する。
- 楽しみ・遊びといった要素も加え、文化・芸術・歴史的な機能に触れられる。
- 訪れた人々が癒しや安らぎを覚え、心身共リフレッシュできるような施設とする。

1 基本理念



2 目標

(多く出されている意見、特に必要と思われる意見)

- ・全市民が誇れる施設、豊かな都市像のシンボル、理想都市創造のシンボル
- ・上田市の芸術、文化の薫る町づくりのシンボル的な施設
- ・21世紀を輝きのある世紀にするための新市創造のシンボル
- ・市民の文化、交流、夢が広がる創造性探求の場
- ・東信地区の中心都市としてのシンボル
- ・市外からも集客でき、観光、財政面で効果のある施設

キーワード：
「シンボル」、「誇り」

- 新上田市のシンボルとなる施設
～市民が誇りを感じられ、県内外から多くの人々が訪れるような魅力溢れる施設～
(まちづくり拠点の視点)

- ・芸術、文化の創造、育成、振興、文化発信の拠点
- ・文化、教育の両面でその責務を果たし得る施設
- ・人間性、創造性探求の場とし、豊かな文化芸術の薫り高い都市を創造
- ・新生上田市の新たな芸術拠点、伝統や文化の継承の場
- ・子どもたちが豊かな心、豊かな人間性を育む場
- ・市の文化水準の向上につながる場

キーワード：
「文化」、「芸術」

- 「歴史や伝統に学ぶ文化芸術の薫るまち」実現に向けての中核となる施設
(文化芸術の視点)

- ・様々な分野の催しが行われる場所、交流できる場所
- ・単なる文化・交流施設ではなく、「まちづくり」「観光」の拠点
- ・市外、県外からも集客でき、観光、財政面で効果のある施設
- ・商店街などを含め、市全体が活性化、元気になる場
- ・市内既存文化施設等との連携

キーワード：
「交流」、「活性化」

- 新たな交流や賑わいを創出し、地域の活性化につながる施設
(まちづくり、活性化の視点)

- ・子どもからお年寄りまでが気軽に訪れられる、親しみの持てる場所
- ・特に催しなくとも訪れられる、身近な施設
- ・市民の手によってつくられ、市民の心がひとつになる施設
- ・市民の多種多様な要望に応えられる施設
- ・市民が使いやすく、便利な、敷居の低い施設

キーワード：
「親しみ」、「気軽さ」

- 市民誰もが等しく気軽に利用でき、親しみ、憩える施設
(交流の場の視点)

- ・自然を残し、千曲川などの上田市の風景を活かした、景観に配慮した施設
- ・高齢者や体の不自由な方に配慮した、優しさのある施設
- ・省エネ、エコロジーに配慮した整備と運営
- ・子どもが安全に遊べる施設
- ・災害時の防災拠点になる施設

キーワード：
「環境」、「安全」

- 環境、景観、安全等に配慮した、人にも地球にも優しい施設
(自然環境、やさしさの視点)

専門委員会への検討課題について（案）

1 検討課題

- (1) 「施設の概要（内容、規模、機能）」について
- (2) 「管理運営の方向性」について
- (3) 施設のイメージ図について（報告書用）

2 施設整備の概要

- (1) 施設の全体規模・構成
 - ・交流機能の充実、ホール機能・規模の充実、連携・回遊性への配慮など
- (2) ホール部門
 - ・客席数 大ホールと併せて副ホール（小又は中規模ホール）への意見要望、クラシック音楽、演劇・ミュージカル、ポピュラー音楽、コンベンションなどへの希望が多数
 - ・舞台 スペース確保など
 - ・付帯施設 リハーサル室、楽屋、搬入口など
- (3) 文化的機能部門
 - ・企画展示・子どもの創作や体験活動・市民の作品発表など
- (4) 市民公園・広場部門
 - ・水、花、緑が多く自然環境が保全、心が癒されるような公園・広場
 - ・スペースが広く自由に過ごせるような公園・広場
 - ・賑わいや活気に溢れている公園・広場など
- (5) 駐車場
 - ・スペースを広く
- (6) 機能部門
 - ・レストラン・カフェ・売店
 - ・多目的フリースペース
 - ・練習室、託児室、会議室など
- (7) 施設イメージ図

3 管理運営の方向性

- (1) 管理運営体制
 - ・財政面への配慮など
- (2) 事業方針
 - ・一流の芸術にふれる機会
 - ・郷土文化の継承と創造など

今後の予定について

1 検討委員会の進め方（修正）について（案）

（1）検討委員会の進め方（修正）について（案）・・・資料 4 -②参照

2 当面する検討委員会の開催予定

（1）第 6 回検討委員会

ア 日 時 10 月 28 日（火）午後 3～5 時

イ 場 所 上田商工会議所 4 階会議室（予定）

ウ 検討内容 1) 専門委員会の設置と検討内容について

2) たたき台について

・施設の概要（内容、規模、機能について）

・管理運営の方向性について

（2）第 7 回検討委員会

ア 日 時 11 月 17 日（月）午後 3～5 時

イ 場 所 上田駅前ビルパレオ 2 階会議室

ウ 検討内容 1) 中間報告案について

・編集構成・基本理念・施設の概要（内容・規模・機能）

・管理運営の方向性のまとめ

2) 当面の取組みについて

・中間報告書の提出について

・市民公聴会の開催

・パブリックコメント（意見募集）の実施など

検討委員会の進め方(修正)について(案)

検討結果報告後の予定

